

香川労働局発表
令和6年4月26日

担 当	香川労働局労働基準部
	健康安全課長 小林 知己
	主任地方産業安全専門官 小山 正博
	電話(087)811-8920(直通)
	夜間(087)811-8926(呼出)
https://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/	

令和5年の労働災害発生状況を公表します

香川労働局(局長 ^{くりお やすかず} 栗尾 保和)は、県下の労働災害による令和5年の死傷者数(休業4日以上)を取りまとめたので公表します。

【死傷労働災害(休業4日以上)の概要と特徴】

死傷者数(休業4日以上)は、1,650人(対前年比-659人、同率-28.5%)となっている。死傷者数のうち、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)によるものは438人。

業種別の発生件数(対前年比、同率)は、保健衛生業564人(-528人、-48.4%)、製造業332人(-89人、-21.1%)、商業196人(-19人、-8.8%)、運輸交通業173人(+9人、+5.5%)、建設業133人(-5人、-3.6%)の順で多く発生。

事故の型別では、「その他(32.1%)」が最も多くなっているが、その殆どがコロナによるものであり、「その他」を除くと「転倒(18.1%)」、「墜落・転落(12.2%)」、「はさまれ・巻き込まれ(10.6%)」、「動作の反動、無理な動作(9.1%)」が依然として多くなっている。

年齢別では、50歳以上の割合が46.7%となっている。また、経験期間別では、3年未満の未熟練労働者の割合が36.2%となっている。

災害の程度別では、休業4日以上2週未満のものが41.0%を占めている。

【死亡労働災害の概要と特徴】

死亡者数は4人と、前年の6人に比べ2人減少。

業種別では、運輸交通業で2人、製造業及び建設業でそれぞれ1人となっている。

事故の発生状況では、運輸交通業においては「トラックによる交通事故」、製造業においては「動力機械によるはさまれ・巻き込まれ」、建設業においては「土砂崩壊」など、それぞれの業種特有の死亡災害が多く発生している。

年齢別では、60歳代が2人、20歳代及び80歳代がそれぞれ1人となっている。

香川労働局では、県下5つの労働基準監督署とともに、労働災害の防止を重点項目の1つに掲げて取り組んでいる。

添付資料

「令和5年 労働災害の発生状況について（労働者死傷病報告より）」

図 - 1 労働災害による死傷者数の推移（香川県）(昭和48年より)

表 - 1 業種別労働災害発生状況（コロナ関連の内訳）

図 - 2 令和5年 死傷労働災害発生状況

（ 業種別、 事故の型別、 起因物別、 年齢別、 経験期間別、 事業場規模別、
災害の程度別、 月別）

表 - 2 令和5年 業種別・事故の型別労働災害発生状況

表 - 3 令和5年 事故の型別・年齢別労働災害発生状況

表 - 4 令和5年 死亡労働災害発生状況

図 - 3 令和5年 死亡労働災害発生状況

（参考）令和5年 死傷労働災害発生状況（新型コロナウイルス感染症を除く）

（ 業種別、 事故の型別、 起因物別、 年齢別、 経験期間別、 事業場規模別、
災害の程度別、 月別）

令和5年 労働災害の発生状況について（労働者死傷病報告より）

1 死傷労働災害の発生状況

（1）労働災害による死傷者数の推移（図 - 1）

死傷者数(休業4日以上)は1,650人で、前年の2,309人に比べ659人(-28.5%)減少している。

また、死傷者数のうち、新型コロナウイルス感染症によるものは438人で、令和4年の1,126人から大幅に減少している。

（2）業種別労働災害発生状況（表 - 1、図 - 2）

業種別では、保健衛生業が最も多く564人(34.2%)、次いで製造業332人(20.1%)、商業196人(11.9%)、運輸交通業173人(10.5%)、建設業133人(8.1%)の順(100人以上のみ)となっている。

（3）事故の型別発生状況（図 - 2、表 - 2）

「事故の型別」では、「その他」を除くと、「転倒」(298人、18.1%)、「墜落・転落」(202人、12.2%)、「はさまれ・巻き込まれ」(175人、10.6%)、「動作の反動、無理な動作」(150人、9.1%)の順に多くなっている。「その他」(529人、32.1%)の多くが新型コロナウイルス感染症(438人)によるものである。

- ・ 「転倒」(298人)については、製造業(53人)と第三次産業(商業(72人)、保健衛生業(58人)、接客娯楽業(26人))で、転倒災害全体の70.1%(209人/298人)を占めている。発生率の高い業種は、商業36.7%(72人/196人)、接客娯楽業38.2%(26人/68人)などであり、第三次産業で多発している。
- ・ 「墜落・転落」(202人)については、製造業(35人)、建設業(38人)、運輸交通業(59人)、商業(24人)で、墜落・転落災害全体の77.2%(156人/202人)を占めている。発生率の高い業種は、運輸交通業34.1%(59人/173人)、建設業28.6%(38人/133人)である。
- ・ 「はさまれ・巻き込まれ」(175人)については、製造業で多く発生し、はさまれ・巻き込まれ災害全体の56.6%(99人/175人)を占めている。
- ・ 「動作の反動、無理な動作」(150人)は、保健衛生業で多く発生し、動作の反動、無理な動作の災害全体の28.7%(43人/150人)を占めている。

（4）起因物別発生状況（図 - 2）

起因物別では、「その他」を除くと、「仮設物・建築物・構築物」(301人、18.2%)、「物上げ装置・運搬機械」(244人、14.8%)、「その他の装置等」(228人、13.8%)、動力機械(131人、7.9%)の順に多くなっている。「その他」(559人、33.9%)の多くが新型コロナウイルス感染症(438人)によるものとなっている。

(5) 年齢別発生状況 (図 - 2 、 表 - 3)

年齢別では、50 歳 ~ 59 歳が占める割合 (23.3% (385 人 / 1,650 人)) が最も多く、50 歳以上の者が占める割合は 46.7% (771 人 / 1,650 人) となっている。

- ・ 50 歳以上の各年齢階層において、事故の型別のうち「転倒」の占める割合が最も高くなっており、50 歳 ~ 59 歳においては 20.8% (80 人 / 385 人)、60 歳 ~ 69 歳においては 34.9% (96 人 / 275 人)、70 歳以上の階層においては 45.9% (51 人 / 111 人) となっており、年齢階層が上がるごとに高くなっている。「転倒」においては、50 歳以上が 76.2% (227 人 / 298 人) を占めている。

(6) 経験期間別発生状況 (図 - 2)

経験期間別では、10 年以上の占める割合 (35.8% (591 人 / 1,650 人)) が最も多く、経験期間 3 年未満の未熟練労働者が占める割合は 36.2% (597 人 / 1,650 人) となっている。

また、60 歳以上の者のうち、経験期間が 3 年未満の未熟練労働者が占める割合は 29.0% (112 人 / 386 人) となっている。

(7) 事業場規模別発生状況 (図 - 2)

事業場の規模別では、30 人未満の事業場で、36.8% (607 人 / 1,650 人) の労働災害が発生している。また、100 人以上の事業場では、35.6% (588 人 / 1,650 人) となっている。

(8) 災害の程度別発生状況 (図 - 2)

災害の程度別では、休業 4 日以上 2 週未満の占める割合 (41.0% (677 人 / 1,650 人)) が最も多く発生している。また、1 月以上のものが 42.8% (706 人 / 1,650 人) となっている。

(9) 月別発生状況 (図 - 2)

月別発生状況では、1 月が 15.3% (253 人 / 1,650 人) と最も多くなっているが、新型コロナウイルス感染症による影響である。

2 死亡労働災害の発生状況

(1) 令和 5 年における死亡者 (表 - 4、図 - 3)

死亡者数は 4 人と、前年の 6 人に比べ 2 人減少し、統計が残る昭和 27 年以来、最も少ない数となっている。

(2) 業種別発生状況 (図 - 3)

業種別では、運輸交通業で 2 人、製造業及び建設業で各 1 人となっている。

(3) 事故の型別・起因物別発生状況 (図 - 3 、 図 - 3)

事故の発生状況では、「作業床からの墜落」、「土砂崩壊」、「動力機械によるはさまれ・巻き込まれ」及び「交通事故 (道路)」でそれぞれ 1 人となっている。

(4) 年齢別発生状況 (図 - 3)

年齢別では、60 歳代が 2 人、20 歳代及び 80 歳代が各 1 人と、高齢者の死亡災害が多くなっている。

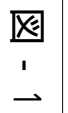
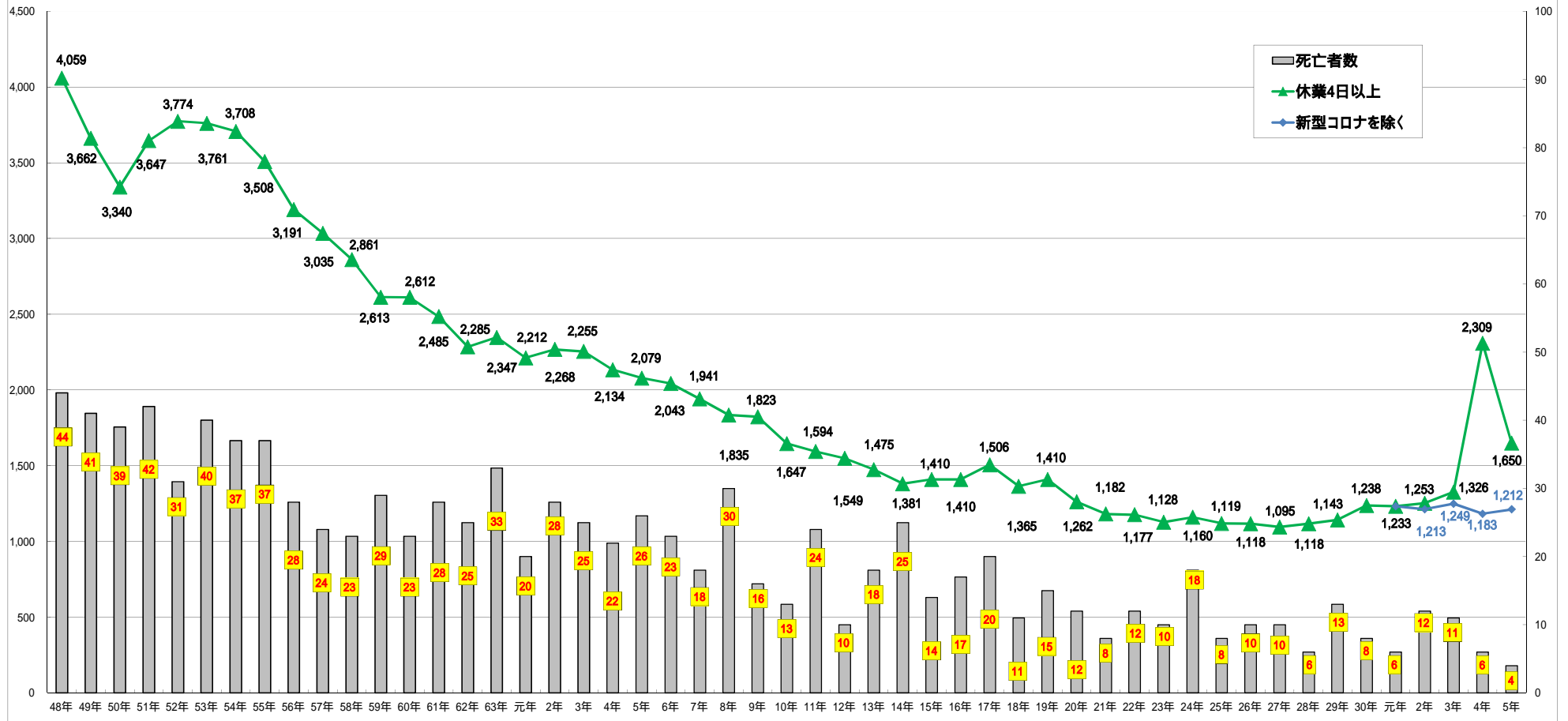
(6) 事業所規模別発生状況 (図 - 3)

事業場の規模別では、「10～29 人」で 2 人、「30～49 人」、「100～299 人」で各 1 人となっている。

(7) 月別死亡者数 (図 - 3)

月別死亡者数は、5 月、8 月、10 月、11 月でそれぞれ 1 人となっている。

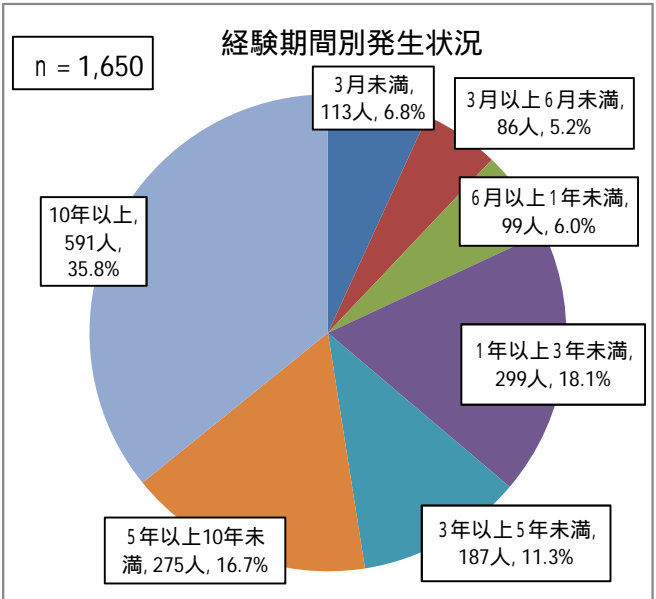
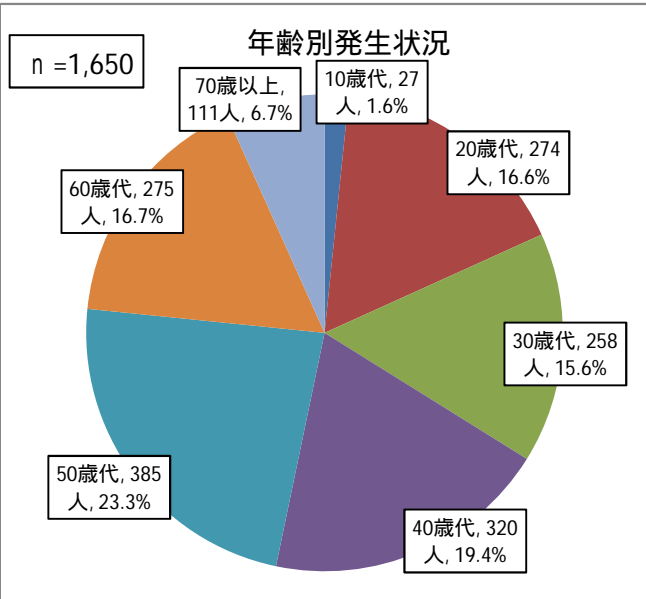
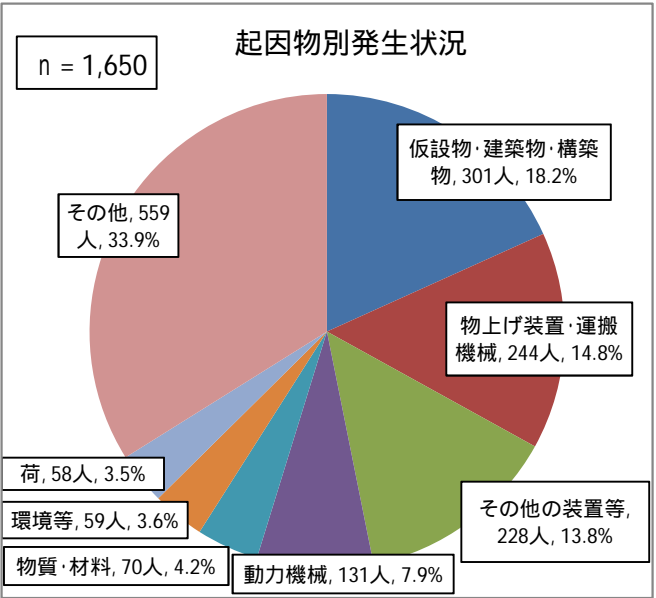
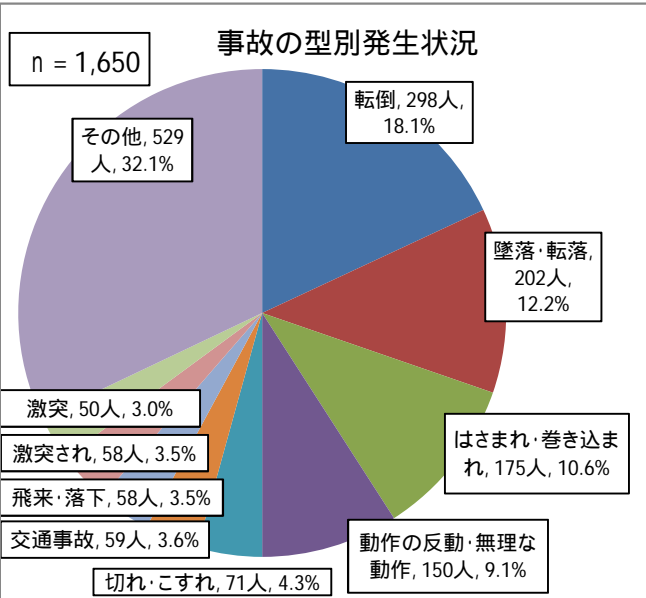
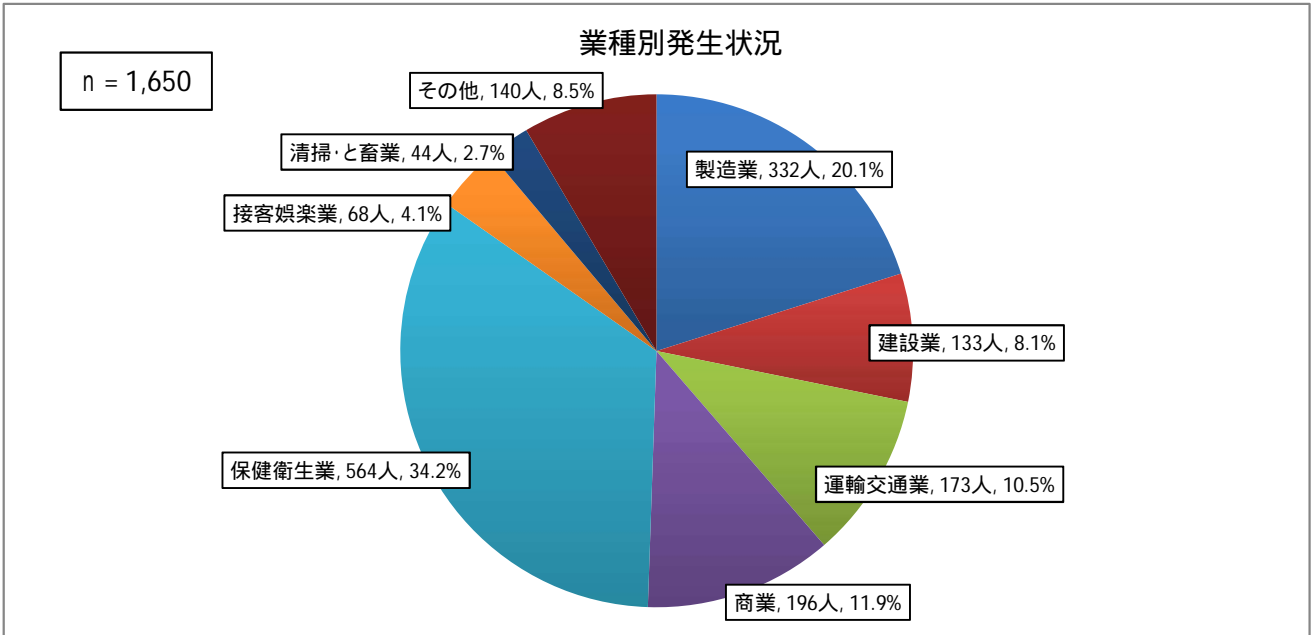
労働災害による死傷者数の推移(香川県)

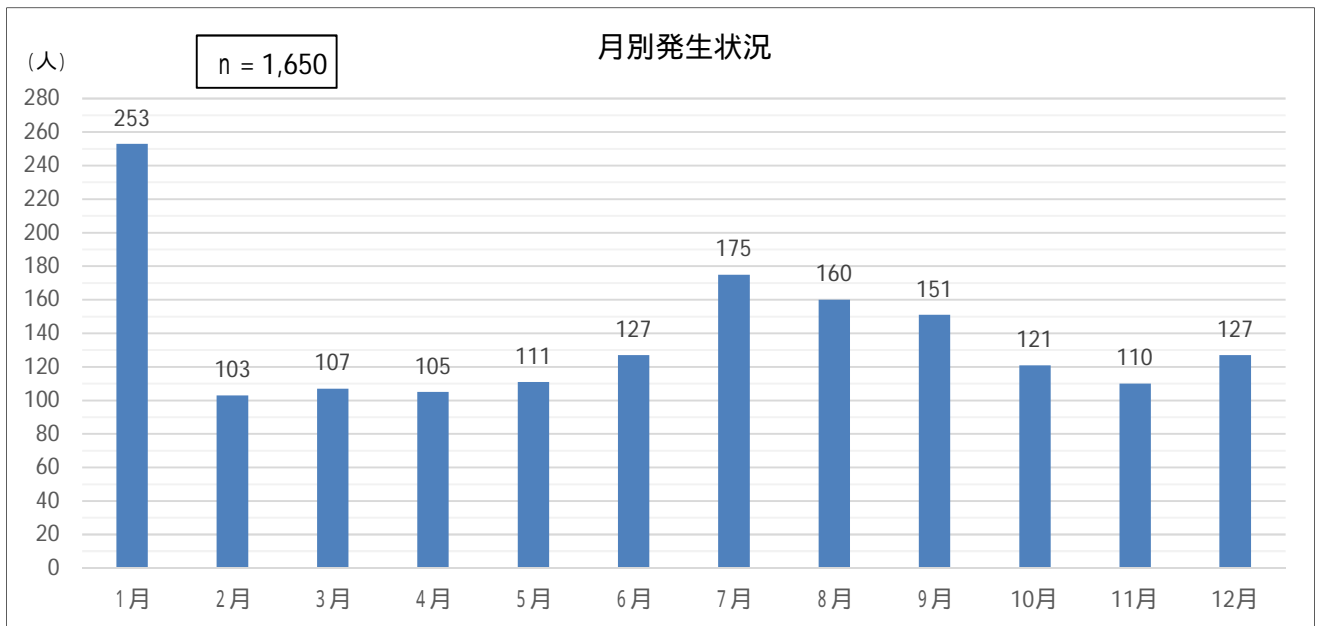
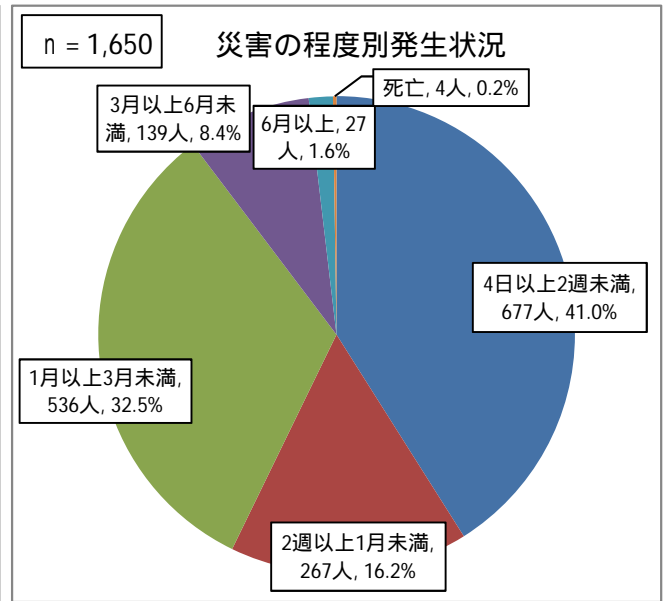
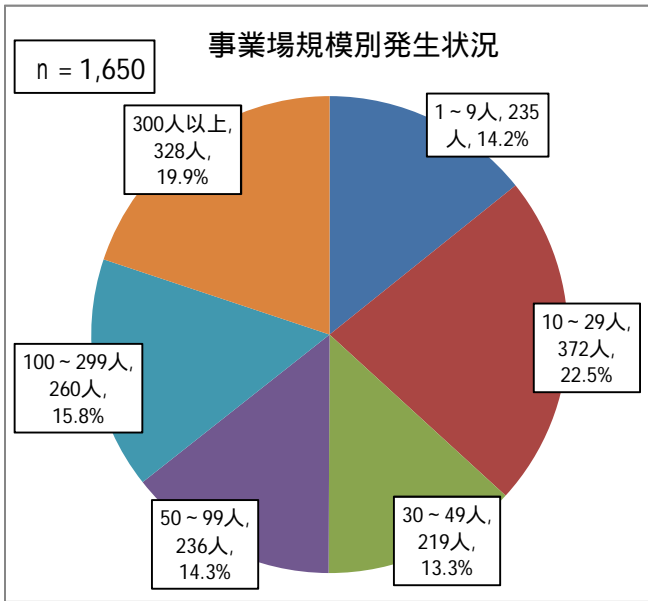


業種別労働災害発生状況（コロナ関連の内訳）

業種	局・署	令和5年（確定）			令和4年（確定）			増減					
		休業4日以上	コロナ関連	コロナ関連以外	休業4日以上	コロナ関連	コロナ関連以外	休業4日以上	コロナ関連	コロナ関連以外			
01	食料品製造	(0)	103	103	(0)	184	76	108	(0)	81	-76	-5	
02	繊維工業	(0)	1	1	(0)	2		2	(0)	-1		-1	
03	衣服その他の繊維	(0)	3	3	(0)	2		2	(0)	1		1	
04	木材・木製品	(0)	11	11	(0)	7		7	(0)	4		4	
05	家具・装備品	(0)	2	2	(0)	3		3	(0)	-1		-1	
06	パルプ等	(0)	12	12	(1)	20		20	(-1)	-8		-8	
07	印刷・製本	(0)	13	13	(0)	5		5	(0)	8		8	
08	化学工業	(0)	19	19	(0)	24		24	(0)	-5		-5	
09	窯業土石	(0)	15	15	(0)	20	2	18	(0)	-5	-2	-3	
10	鉄鋼業	(0)	7	7	(0)	3		3	(0)	4		4	
11	非鉄金属	(0)	2	2	(0)	3		3	(0)	-1		-1	
12	金属製品	(0)	56	56	(0)	58	4	54	(0)	-2	-4	2	
13	一般機械器具	(0)	23	23	(1)	30	4	26	(-1)	-7	-4	-3	
14	電気機械器具	(1)	8	1	7	(0)	6	6	(1)	2	1	1	
01	造船業	(0)	27	27	(0)	23		23	(0)	4		4	
15	輸送機械製造	(0)	31	31	(0)	28		28	(0)	3		3	
16	電気・ガス	(0)	2	2	(0)	2		2	(0)	0		0	
17	その他の製造	(0)	24	24	(0)	24		24	(0)	0		0	
01	製造業	(1)	332	1	331	(2)	421	86	335	(-1)	-89	-85	-4
02	鉱業	(0)	6	6	(0)	1		1	(0)	5		5	
01	土木工事	(1)	35	35	(0)	43		43	(1)	-8		-8	
02	木造家屋建築	(0)	14	14	(0)	11		11	(0)	3		3	
02	建築工事	(0)	67	2	65	(2)	71	5	66	(-2)	-4	-3	-1
03	その他の建設	(0)	31	31	(0)	24	4	20	(0)	7	-4	11	
03	建設業	(1)	133	2	131	(2)	138	9	129	(-1)	-5	-7	2
03	道路貨物運送	(2)	158	158	(0)	148	3	145	(2)	10	-3	13	
04	運輸交通業	(2)	173	173	(0)	164	6	158	(2)	9	-6	15	
01	陸上貨物	(0)	8	8	(0)	7		7	(0)	1		1	
02	港湾運送業	(0)	6	6	(0)	22	12	10	(0)	-16	-12	-4	
05	貨物取扱	(0)	14	14	(0)	29	12	17	(0)	-15	-12	-3	
02	林業	(0)	5	5	(0)	7		7	(0)	-2		-2	
06	農林業	(0)	20	20	(0)	21	4	17	(0)	-1	-4	3	
07	畜産・水産業	(0)	13	13	(1)	15		15	(-1)	-2		-2	
02	小売業	(0)	145	2	143	(0)	164	3	161	(0)	-19	-1	-18
08	商業	(0)	196	4	192	(0)	215	12	203	(0)	-19	-8	-11
11	通信業	(0)	19	19	(0)	10		10	(0)	9		9	
02	社会福祉施設	(0)	177	82	95	(0)	523	443	80	(0)	-346	-361	15
13	保健衛生業	(0)	564	431	133	(0)	1,092	984	108	(0)	-528	-553	25
02	飲食店	(0)	44	44	(0)	54	6	48	(0)	-10	-6	-4	
14	接客娯楽	(0)	68	68	(0)	78	6	72	(0)	-10	-6	-4	
15	清掃・と畜	(0)	44	44	(0)	57	4	53	(0)	-13	-4	-9	
	その他の事業	(0)	68	68	(1)	68	3	65	(-1)	0	-3	3	
	全産業	(4)	1,650	438	1,212	(6)	2,309	1,126	1,183	(-2)	-659	-688	29

令和5年 死傷労働災害発生状況





令和5年 業種別・事故の型別労働災害発生状況

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動・無理な動作	その他 （新型コロナウイルス 感染症を除く）	その他 （新型コロナウイルス 感染症）	分類不能	合計
01 製造業	35	53	15	29	7	17	99	25	1	16	2				2		29	1	1		332
02 鉱業	1	1	1			1				1					1						6
03 建設業	38	15	4	9	2	10	21	14			3				6		8	1	2		133
04 運輸交通業	59	27	13	7	5	9	20			2					13		15	3			173
05 貨物取扱	3	4	1		1		2			2							1				14
06 農林業	5	1	1	3		1	1	3	1	1					1		2				20
07 畜産・水産業	2	3				4	2											2			13
08 商業	24	72	9	6	3	4	13	14		5					16	1	23	2	4		196
11 通信業	1	6		1	1		2								4		2	2			19
13 保健衛生業	8	58	2			9	2	3		1					4		43	3	431		564
14 接客娯楽	3	26	1				2	8		15	1		1				10	1			68
15 清掃・と畜	13	11	1	3		1	7	4									4				44
その他の事業	10	21	2		1	2	4					1			12		13	2			68
合計	202	298	50	58	20	58	175	71	2	43	6	1	1	0	59	1	150	17	438	0	1,650

表-2

令和5年 事故の型別・年齢別労働災害発生状況

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動・無理な動作	その他 （新型コロナウイルス 感染症を除く）	その他 （新型コロナウイルス 感染症）	分類不能	合計
～19歳	3	1	2	3			4	4		1	1				3		5				27
20歳～29歳	20	21	9	8	7	6	29	16		7	2				5		24	2	118		274
30歳～39歳	22	16	7	12	1	5	33	11	1	5			1		9		25	3	107		258
40歳～49歳	49	33	7	15	2	10	39	19	1	8		1			7		32	5	92		320
50歳～59歳	58	80	12	11	4	19	38	11		13	3				18		37	4	77		385
60歳～69歳	36	96	8	5	4	13	24	6		7					11	1	23	3	38		275
70歳～	14	51	5	4	2	5	8	4		2					6		4		6		111
合計	202	298	50	58	20	58	175	71	2	43	6	1	1	0	59	1	150	17	438	0	1,650

令和5年 死亡労働災害発生状況

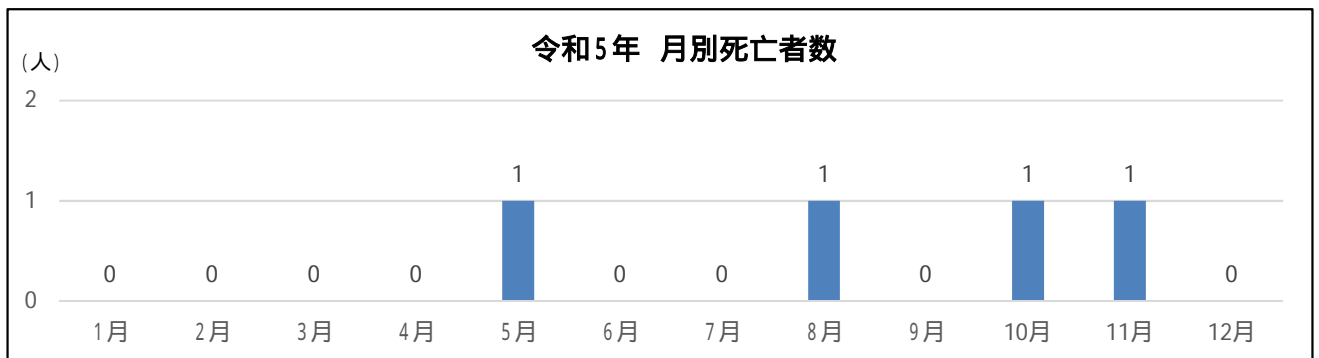
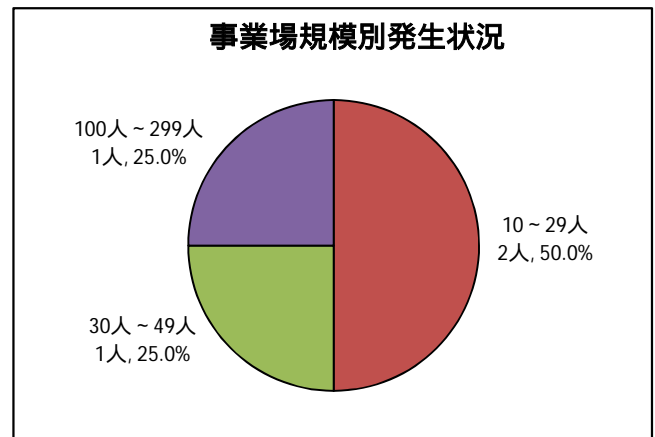
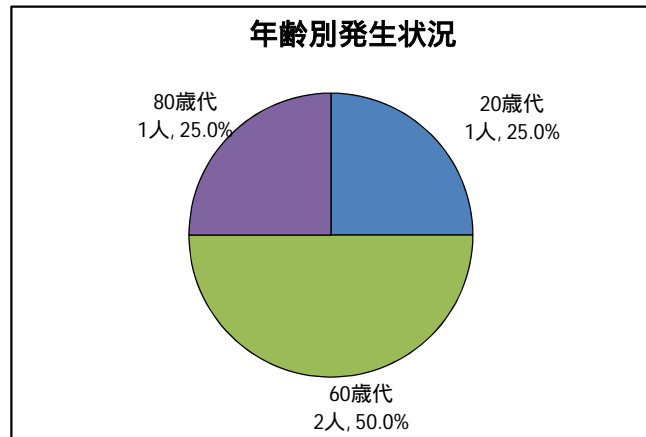
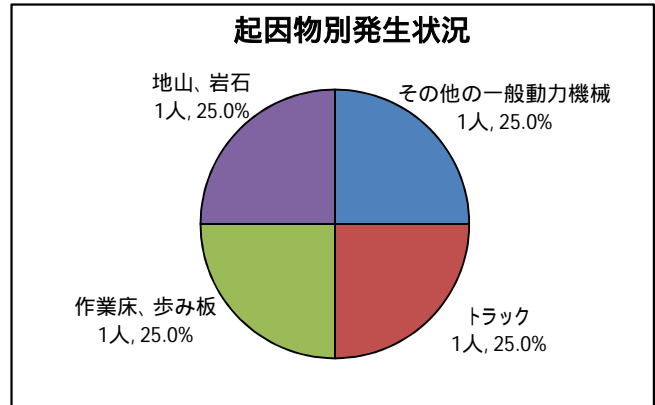
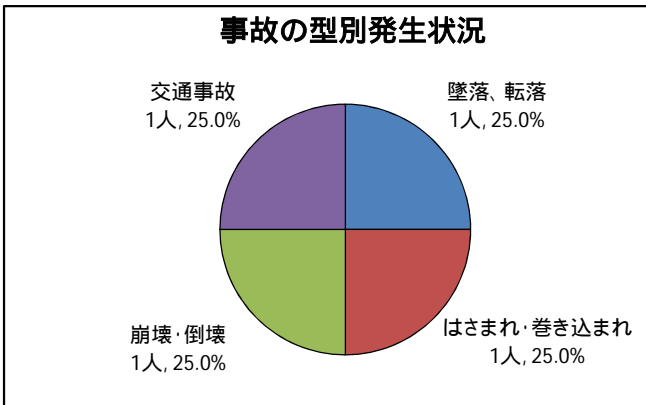
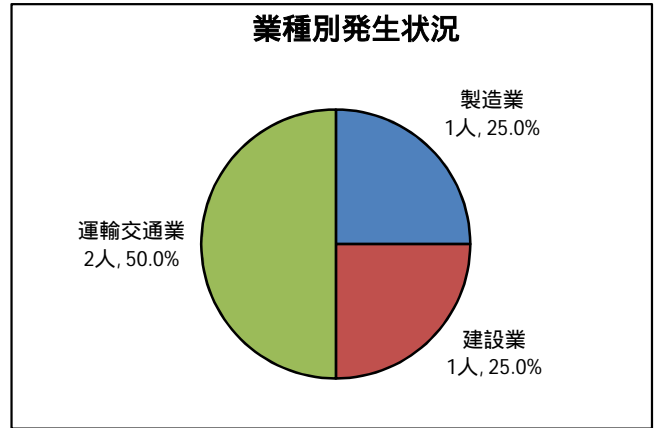
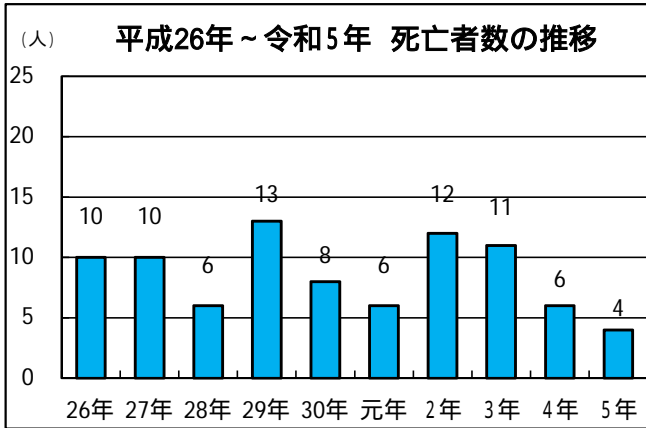
死亡災害一覧表

番号	死亡者数累計	業種	発生月	発生時間帯	事故の型 年齢	発生状況
1	1	特定貨物自動車運送業	5月	11時台	墜落、転落 60歳代	被災者は、プラント内での作業中、作業床の開口部から盛り上がった土の上へ墜落して転がり、さらにH鋼に頭を打ち付けたもの。作業床とH鋼との高低差は1.2mであった。
2	2	電気機械器具製造業	8月	14時台	はさまれ、巻き込まれ 80歳代	被災者は、塗装作業工程において塗料容器の清掃作業を行っていたところ、塗料容器が上昇して塗料容器と容器上部にある乾燥炉に頭部を挟まれたもの。
3	3	一般貨物自動車運送業	10月	2時台	交通事故 60歳代	信号付き交差点において、相手方トラックと被災者の運転するトラックが、出会い頭に衝突し、被災者は頭を強く打ったもの。
4	4	土木工事業	11月	14時台	崩壊・倒壊 20歳代	地中に埋まった配管の更新工事において、深さ2.5メートル程の中で管の接続を行っていたところ、掘削面が崩壊して被災者が土砂に埋まったもの。

業種別・事故の型別死亡災害発生状況

業種	事故の型									
	墜落、転落	転倒	激突され	飛来、落下	崩壊、倒壊	巻き込まれ、	おぼれ	感電	交通事故	合計
製造業						1				1
鉱業										0
建設業					1					1
運輸交通業	1								1	2
漁業										0
商業										0
接客娯楽業										0
その他の事業										0
合計	1	0	0	0	1	1	0	0	1	4

令和5年 死亡労働災害発生状況



令和5年 死傷労働災害発生状況 (新型コロナウイルス感染症を除く)

